

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。



日本共産党荒川区議会議員  
**斉藤 くに子**  
区政ニュース



2022年10月16日No1306号

区役所直通3802-4627  
fax3806-9246

メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp

区議会http://www.jcp-arakawakugidan.jp/くに子ブログhttp://s-kuniko.jugem.jp/

## ★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時～

# 10月24日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活相談は随時随時に応じます。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax3806-5134

コロナウイルスとの関係で定例法律相談は完全予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

予約は先着順とします。前日までに予約がない場合は中止します。

## 2021年度の予算執行(決算)は区民の暮らしの実態に立っていたのか

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大から2年目、区民の命と暮らしをどう守るか最大の課題でした。しかし…

### 新型コロナ感染症対策、暮らし応援とも不十分



この年度途中、コロナ対策を中心に補正予算8回提出しましたが、その多くが国や東京都の制度、交付金、補助金の枠内の事業で区独自は殆どなし。

日本共産党は予算編成時に就学援助の対象拡大、区内事業者への事業継続補助・保健所の抜本的強化、学校給食無償化の準備、ひとり親世帯家賃助成などの実施など約10億円の増、駅前大規模再開発など約3億円余の減の内容で予算組み換え動議を提出。

決算の結果、基金(貯金)に約24億円の積み増し、基金残高も433億円に、地方債残高(借金)は前年度を約5億円減らし、約183億円。

小中学校の建替え・更新は、後年度負担の観点からも起債の適切かつ積極的活用が必要。計画的な財政運営を行っていけば、暮らし応援対策をすすめる財源はある。

### 西日暮里、三河島駅前再開発事業はこれまでどおり推進

多額の財源が必要となる大型開発は推進。再開発の種地にする道灌中・真土小跡地は約8千㎡で特養ホームの4棟分。再開発で学校などがさらに不足するなど持続可能なまちづくりに逆行し将来に禍根を残す。

再開発地区内の区有地		
西日暮里	道灌中跡地	4,270㎡
三河島	真土小跡地 (現思い出広場)	3,500㎡
	合計	7,770㎡

### 一方で町屋さくらの廃止、区民の足を奪ったこと



も重大。決算委員会であたかも代替案が進むかのような質疑が行われたが、運営について「さくら」と同様に区は財政出動しないという姿勢を変えない限り安定した公共交通を維持できない。

### 保育園の民営化をはじめ従来の計画の見直しをすべき

コロナ禍は、保健・医療、保育、教育、子育て支援などの公務労働の重要性が。しかし、区は従来の公設公営の保育園の民営化計画をそのまま。さらには今年、公立幼稚園の廃止計画まで出した。

以上の点から2021年度決算の認定に反対しました。

## 幼稚園4園・こども園(長時間)廃止計画に関わる陳情5本はいずれも趣旨採択に



10月12日本会議で採決が行われた、幼稚園関係

の陳情5本はいずれも賛成多数で趣旨採択になりました。

趣旨採択の討論は自民党中島議員が5本全て行いましたが、「陳情者の気持ちをわかるが基本的に廃止計画はすすめるべき」との意見でした。

教育委員会はこの結果を受けて粛々と廃止計画を進めて行くこととなります。

しかし、せめて最低限以下の3点はハッキリさせるべきと考えます。

①計画を知らない区民が多く残されている。区報で幼稚園廃止計画特集でも作成して、改めて周知し『ご心配事』に回答すること。

②計画は「5園の廃止は3年後・4園は地域拠点園として残す」ですから11月7・8日に区立園募集の結果を受けて一クラスの園児数が7名以下の場合でもクラス編成を行うこと。

③私立幼稚園に対しての支援が必要なお子さんへの教員加配など早急に具体化して議会に示すこと。

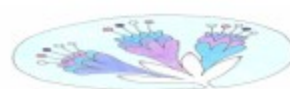
## 私たちは諦めず問題点を質していきます

### 提出された陳情5件

- ①区立町屋幼稚園の存続を求める陳情
- ②区立幼稚園・こども園の廃園反対、子どもたちの未来を守る区政を希求する陳情
- ③私立幼稚園の支援を必要とする子への対応に関する陳情
- ④区立東日暮里幼稚園の存続に関する陳情
- ⑤荒川区立幼稚園の方向性についての改善と全8園・汐入こども園宣伝の陳情

	①	②	③	④	⑤
自民(10)議長除く	△	△	△	△	△
公明(6)	○	×	△	?	?
共産(6)	○	○	○	○	○
ゆいの会(2)	△	△	△	△	△
次世代あらかわ(2)	△	△	△	△	△
日本創新党(1)	△	△	△	△	△
自由民主の会(1)	?	△	△	△	△
元気クラブ(1)	○	○	○	○	○
維新子育ての会(1)	△	△	△	△	△
立憲民主党(1)	△	△	△	△	△

公明党は②本会議で不採択意見・④は委員会では不採択を主張したが本会議では?・⑤は委員会でも本会議でも意見表明なく趣旨採択にも起立せず?自由民主の会は①意見表明がないので?



先週のくに子ニュースはスケジュールが一杯で、作成印刷の時間がなく発行できませんでした。

# 認可保育園の4月入園申し込みが始まります



認可保育園の来年4月入園の申し込みが始まります。

★受付期間は10月27日(木)～11月10日(木)。申込書類は各保育園、区役所2階保育課、区ホームページからダウンロードも可能。

★受付は、区役所保育課入園相談係へ郵送するか、保育課15番窓口にて持参。

※心配事や疑問がある方は、入園相談も実施(平日8:30～17:30、水のみ～19:00)

# 区立幼稚園・こども園は11/7(月)8(火)



★受付期間は11月7日(月)・8日(火)、14～16時。

★申込書類 各園、各ふれあい館、区役所3階教育委員会

区ホームページからダウンロードも可。各園に直接、必要書類をお持ちください。

	3歳児	4歳児	5歳児
南千住第二	30	24	20
南千住第三	35	30	26
町屋	35	25	26
花の木	35	25	18
尾久	35	23	28
尾久第二	35	28	21
日暮里	35	21	13
東日暮里	35	26	26
汐入こども園(短・中時間)	10	33	33

町屋、南千住第三、尾久、東日暮里、汐入こども園の5園廃止する計画が議論されている最中の募集です。区は「3歳児は7人以下なら募集中止」としています。昨年度、南千住第三で3歳児が7人以下となり、区は「募集中止」としました。しかし区民の陳情が区議会で採択され募集中止が撤回されました。廃止計画も見直し求めます。

# 非課税世帯などへの5万円給付について



国の物価高騰対策で非課税世帯等に5万円支給します。

対象は、①今年度の住民税が非課税の世帯、②家計急変で同様の事情にあると認められる世帯。区は全世帯の約2割・27,500世帯と想定。

①の世帯へは、11月前半に区から通知を送る予定ですが、②の世帯は申請が必要となります。(国からの詳しい通知がまだ届いていないため、詳細はこれから)

非課税世帯だけが困っているわけじゃない。一律で給付して欲しい

何で非課税世帯だけなの？子育て世代も大変！ワーキングプアで税金も払い、生活がギリギリの若者の多い。ボランティア食糧支援に大学生の長蛇の列ができる。全世帯に給付して欲しいの声も多く寄せられています。

物価高騰でみんなしんどいのに。結構高い税金支払っているのに

葛飾区では独自に対象を住民税均等割のみ世帯にも拡大しました。荒川区の残念ながら国の方針どおりです。

前日、ムーブ町屋で開催した映画会で、初めてヒアリングループ(磁気ループ)を設置した。マイクを通した音声を直接補聴器や人工内耳へ伝えることで声や音楽をクリアに聞くことができるもの。利用した方からはとても良く聞こえて楽しめたと。議会傍聴でもお願いを！！ぜひ実現に力を尽くします。



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
会員数	1,851	1,724	1,692	1,578
受託契約(千円)	7,120	7,304	6,785	6,865
就業人数	1,347	1,365	1,299	1,281
就業率	72.8%	78.7%	76.8%	81.2%
平均配分月額	47,911	48,426	48,171	49,403



# 仕事確保とインボイスの影響への対応を

シルバー人材センターは高齢者を健康に過ごすために現役引退した後も、なんらかの形で働き続けたいと希望する高齢者が増えてきたことを背景に1975年に東京都において「高齢者事業団」が設立。これを受けて1980年度から「シルバー人材センター」として全国的に事業展開されてきました。

荒川区の現状は上記の

とおりで、75才以上の方が680人も働いています。最高齢は男性92才・女性89才です。仕事の内容は公園やトイレの清掃・広報誌の配布・駅前自転車整理・園児児童の見守りなど7割近くは荒川区からの委託事業です。

シルバーの仕事は生きがい就労と位置付けられてきましたが、今は生活費の補填の側面が大きいと思います。

最低賃金を下回らないようにすること。来年の10月からのインボイス制度導入で「収入の10%課税」を食い止め影響が出ないようにすることを求めています。



## 区内75才以上人口の訂正

10月2日NO1305ののニュースで75才以上の地域ごとの男・女・合計をお知らせしましたが、町屋の欄で数字入力を間違えてしまいました。正しくは右のとおりです。

「町屋は男性が断トツ多いのは何か特別の状況があるのか」「町屋の合計が違っているのではないか」などのご質問をいただきました。男・女・合計の所に入れる数字がテレコに。すいませんでした。

★区内の75歳以上人口 ※【】内は100歳以上数

	男性	女性	合計
南千住	2,143 [3]	3,043 [20]	5,186 [23]
荒川	1,700 [4]	2,663 [16]	4,363 [20]
町屋	1,600 [4]	2,508 [14]	4,108 [18]
東尾久	1,355 [2]	2,156 [9]	3,511 [11]
西尾久	1,491 [2]	2,325 [12]	3,816 [14]
東日暮里	1,238 [4]	1,953 [23]	3,191 [27]
西日暮里	907 [2]	1,464 [6]	2,371 [8]
合計	10,434 [21]	16,112 [100]	26,546 [121]
65～74才	11,564	11,547	23,111
65才以上	21,998	27,659	49,657

95才の叔母が大腿部骨折で手術。リハビリ病院に転院。その際の手続に2時間以上かかった。担当医・看護師・リハビリ担当・事務担当、次々と説明を受け、医療・看護・リハビリの計画、その他様々な同意書に何枚にサインしたのだろうか？患者と家族への事前説明が必要なことはわかるが疲れた。経験者は一枚一枚が診療報酬に関わると言う？病院も患者も家族も大変！医師看護師等の人の配置にお金をかけて欲しいと思ったが…

